

院内保育所

工期：H29年3月1日～
H29年7月31日
用途：保育所
構造：木造平屋建
敷地面積：S=543.68㎡
建築面積：S=197.80㎡
延床面積：S=177.90㎡



【施設紹介】

この度、開所した保育所は院内保育と病児保育に対応しており、それぞれ玄関が分かれています。内部は、杉板が貼られた壁面や、梁を現した広い吹抜空間等、木材をふんだんに使用した、明るく、落ち着いた空間となっています。



▲保育室・乳児室

▲病児保育室



▲保育室干洗台

▲裏庭

▲トイレ



9月1日 院内保育所 & 益田市病児保育事業所 オープンです!!

この度かねてから、当院の念願でありました院内保育所がオープンしました。院内保育所は、医師、看護師などの夜間勤務を行う職員の子育てを支援するため、週に1度、夜間保育(24時間保育)を実施するほか、一時保育や延長保育などの保育ニーズにも対応します。このことにより、職員の確保、定着が促進されることを期待しています。

また、院内保育所には、益田市が運営する病児・病後児専用の保育室も併設されます。病院が隣接していることで、熱性けいれんなどの急変時の迅速な対応も可能になり、地域の皆様に安心して利用していただけたと考えています。当院は今後も、医療・患者サービスの向上と地域社会への貢献に努めて参りますので、よろしくお願いいたします。

院長 木谷 光博

①医師を目指したきっかけはなんですか

東京大学教育学部で人間学を学んでいました。大学を卒業してからはサラリーマンをしていました。どんな仕事でも世の中の役に立っていると感じていました。どうしてもそれを強く実感したい気持ちを持ってしまいました。25歳のとき、私は医者になろうと決め、鳥根大学医学部を受験し合格、卒業し、現在に至ります。

②神経内科を選んだ理由はなんですか

人が幸せに生きるための手助けをしたい。では、幸せに生きるってなんだろうと考えたとき、QOLの向上でした。私は患者さまのQOLを、特に高齢者のADLの向上という面からサポートしていきたいです。ADLは全身の動きに関わります。全身の動きは神経、筋肉のはたらきによるものなので、神経内科を選びました。

③当院にいられてどのような印象を持ちましたか

赴任したタイミングが新病院になってすぐだったのでとてもキレイな病院だなと感じました。あと大谷先生も松井先生も大きいです。

④神経内科はどのような診療をしますか

一般的な診療に加え、脳梗塞、脳卒中、脳血



Doctor's Interview!!

米海先生に聞いてみた!



管疾患、パーキンソン病、その他変性疾患などを診療します。

⑤やりがいを感じる時はどんなときですか

医者って医療としてのチームの中で、リीडー的なポジションに立つことが多いです。普通の会社ですと3年目4年目だと女か女かそうはいきませんが、医者である故に自分の方向性を責任もって周りのスタッフに示していかないとけない。今何をやって、これからどうするか、その量は自分が決めなければならぬ。そこにやりがいを感じます。

⑥急速な高齢化を背景に、脳血管障害や認知症を初めとする多くの神経疾患が増加してきていると思われ、医師として、今後どのような働きが必要になっていくと思われますか

医師の仕事としては医療の仕事がメインになりますが、病気だけでなく家庭環境とか患者さんの背景的なことも見ながら、よりよい生活が送れるようにお手伝いできればと思います。

米海先生、ありがとうございます!



【仕事の紹介】
薬剤師とは

病院薬剤師は、「処方せんを調製し、薬を調剤」、「薬の飲み方や注意点などの説明・指導」、「薬の特性を考慮した保管管理」、「薬の効薬や副作用の情報収集・管理・提供」など多岐に渡って関わり、患者さんへの治療がより効果的で安全に行えるように日々活動しています。通常の調剤業務以外に、専門領域に関する



「がん薬物療法認定薬剤師」は、がん治療は日々、進歩しています。最新の情報を収集し、他の医療スタッフ（医師、看護師など）に報告し、患者さんが安全で有効ながん治療が行えるように、がん化学療法チーム（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士、看護士など）の一員として患者さん、家族を含めた支援を行っています。今後も、入院患者さんはもちろんのこと、外来患者さんに対しても積極的に関わり、適量の薬剤が長く送れるように、支援していきたいと思っています。



「がん薬物療法認定薬剤師」は、がん治療は日々、進歩しています。最新の情報を収集し、他の医療スタッフ（医師、看護師など）に報告し、患者さんが安全で有効ながん治療が行えるように、がん化学療法チーム（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士、看護士など）の一員として患者さん、家族を含めた支援を行っています。今後も、入院患者さんはもちろんのこと、外来患者さんに対しても積極的に関わり、適量の薬剤が長く送れるように、支援していきたいと思っています。



「がん薬物療法認定薬剤師」は、がん治療は日々、進歩しています。最新の情報を収集し、他の医療スタッフ（医師、看護師など）に報告し、患者さんが安全で有効ながん治療が行えるように、がん化学療法チーム（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士、看護士など）の一員として患者さん、家族を含めた支援を行っています。今後も、入院患者さんはもちろんのこと、外来患者さんに対しても積極的に関わり、適量の薬剤が長く送れるように、支援していきたいと思っています。

「がん薬物療法認定薬剤師」は、がん治療は日々、進歩しています。最新の情報を収集し、他の医療スタッフ（医師、看護師など）に報告し、患者さんが安全で有効ながん治療が行えるように、がん化学療法チーム（医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士、看護士など）の一員として患者さん、家族を含めた支援を行っています。今後も、入院患者さんはもちろんのこと、外来患者さんに対しても積極的に関わり、適量の薬剤が長く送れるように、支援していきたいと思っています。

2方向透視X線TV装置
バイプレーナー500eを
整備しました

本施設は、平成29年7月に社団法人日本損害保険協会から「交通災害等救急医療機器整備事業」として寄附金を受け整備しました。緊急手術が必要な大腸骨や骨盤部の骨折に装置を使用して手術を行います。2方向X線で水平・垂直を同時に撮影し、より正確な骨折部位の整備と骨接合が期待されます。今後も交通事故等で受傷した患者さんの早期社会復帰の支援、医療の質の向上を目指していきたいと考えております。



2方向透視X線TV装置バイプレーナー500e

活動
報告

季節ごとの行事・イベント

2017年6月18日

ANA様から「しあわせの花
すずらん」のプレゼント
（患者さんより贈られたもの）



6月1日(木)今年もANA様より、「すずらん」の花の贈呈式が行われ、「すずらんの切り花」「すずらんの鉢植え」「すずらんのしおり」が贈られました。ANAグループ様では、入院患者様の日も早い回復を祈り、昭和31年からスタートしたイベントで、今年で62回目となる、伝統的な社会貢献活動となっています。職員一同、これからも患者様に寄り添い、誠心誠意、思いやりのある治療を続けていきたいと思っております。

6月1日(木)今年もANA様より、「すずらん」の花の贈呈式が行われ、「すずらんの切り花」「すずらんの鉢植え」「すずらんのしおり」が贈られました。ANAグループ様では、入院患者様の日も早い回復を祈り、昭和31年からスタートしたイベントで、今年で62回目となる、伝統的な社会貢献活動となっています。職員一同、これからも患者様に寄り添い、誠心誠意、思いやりのある治療を続けていきたいと思っております。



新型インフルエンザ
対応訓練を実施しました

6月28日(水)新型インフルエンザ発生時の対応について、益田保健所と連携し、患者受け入れの訓練を実施しました。今回の訓練は、益田保健所より、保健所より、新型インフルエンザに感染した疑いのある患者の受け入れ要請のもと、関係部署が院内マニュアルに従い、連携して必要な処置を行うことを目的としました。



病院長より、患者受け入れ指示が出ると、感染管理者が現場指揮者となって、病棟、事務課、検査課などが患者受け入れ態勢に入ります。

病院長より、患者受け入れ指示が出ると、感染管理者が現場指揮者となって、病棟、事務課、検査課などが患者受け入れ態勢に入ります。

認定看護師・新任医師 紹介



認定看護師

土佐 めぐみ

認定看護師

紹介文

認定看護師

齋藤 操

認定看護師

紹介文

認定看護師

寺戸 ゆり

認定看護師

紹介文

新任医師

内田 有記

新任医師

紹介文

今回の訓練を受け、患者情報伝達の課題、他者への影響を最小限にした患者移送の方法、防護員の着脱など様々な確認ができました。今後も、保健所との連携をよりいっそう深め、感染管理認定看護師をはじめ、各部門と連携しながら、感染症への対策強化を図って行きたいと思っております。

グラントワ・ユースコール
日赤ロビーコンサート



7月2日(日)今年も恒例となつていますが、広兼先生が率いるグラントワ・ユースコールの皆さんが来られました。

「365日の紙飛行機」など全5曲を力いっぱい歌っていたとき、その歌声がロビーいっぱい響き渡りました。